

2022年11月8日
一社)京都府北部地域連携都市圏振興社 京丹後地域本部

第2弾

観光PR商品「京丹後七姫茶」製作

11月8日から、公社ECサイト、アミティ丹後、久美浜駅などで販売

京丹後市観光公社（理事長：齊藤修司）では、このほど京丹後産緑茶を使った観光PR商品の第2弾として「京丹後七姫茶（きょうたんごしちひめちゃ）」を3,000個製作し、本日11月8日から当公社ECサイトなどで販売いたします。

この商品は、京丹後市に伝承・伝説が残る“京丹後七姫”^{*}をイメージして、京丹後産の上級煎茶をベースにドライフルーツ等を混ぜたフレーバーティーとして製品企画。“姫駕籠（ひめかご）”をモチーフにした外箱の中に、個包装した7種類（煎茶、レモン、ゆず、生姜、黒豆、リンゴ、パイナップル）のティーバッグタイプのフレーバーティーを詰め合わせたセット商品です。当公社が「COCHAE（コチャエ）」（本社：岡山市／代表取締役：軸原洋介）と共同で制作したもので、京丹後市の認知度向上と誘客促進を目的に、令和3年度に開発した「お茶レター」に次ぐ観光PR商品となります。

パッケージなどのデザインは、COCHAEの武田美貴さん（京丹後市峰山町在住）が担当。“丹後七姫”がチーム名の由来であるという京都北部を中心に活動する女子サッカークラブ「KYOTO TANGO QUEENS」の吉野有香代表と二宮早紀選手の2人も加わり、試作品13種類を試飲し、“京丹後七姫”のイメージに合う7種類のフレーバーを選定しました。また製茶は、株式会社磯野開化堂（宮津市／代表取締役：磯野修一）が行うなど、丹後地域に縁のあるメンバーのコラボ商品となっています。

お土産品として利用していただけるほか、「京丹後七姫伝説」の紹介文（別紙）を同梱しており、観光客など購入いただいた方に“京丹後七姫”を身近に感じてもらうとともに、実際に伝承地巡りを楽しんでいただけるよう工夫しています。観光資源として「文化観光」を促進していくことも、本商品製作の目的の一つとしています。

販売は、11月8日から「京丹後市観光公社の公式WEBサイト『京丹後ナビ』内のオンラインショップ『海の京都 旬の京丹後ふるさと便』をはじめ、京丹後市観光公社窓口、久美浜町観光総合案内所（久美浜駅構内）及びアミティ丹後（「丹後地域地場産業振興センター」：京丹後市網野町）で開始します。なお、今後は、市内宿泊施設の売店や取扱店などでの販売も計画しています。

※「京丹後七姫」…羽衣天女（はごろもてんによ）、細川ガラシャ（ほそかわがらしゃ）、間人皇后（はしうどこうごう）、静御前（しずかごぜん）、乙姫（おとひめ）、小野小町（おののこまち）、川上摩須郎女（かわかみすのいらつめ）



■商品名：「京丹後七姫茶」
 ■販売価格：1個 ¥1,280- (税込み価格)

(参考) 公社 EC サイト：オンラインショップ「海の京都 旬の京丹後ふるさと便」

<https://kyotango.shop-pro.jp/>



【京丹後七姫伝説の紹介文】

京丹後七姫伝説
 海の京都

日本列島のほぼ中央、京都府北部の日本海に面する位置にある京丹後市。時代を超えた女性の伝説「京丹後七姫伝説」が、久美浜町・峰山町・丹波町に存在します。また、京丹後鉄道沿線の京丹後市リアの4駅には、この伝説に由来した愛称が採用されています。

静御前 SHIZUYORI
 静御前は、平安時代の終わり(およそ850年前)の白拍子で、源義経の側室です。網野町には、静御前の出土地と伝えられており、静御前を祀る神社などがあります。

女二宮 ONNA NIINOMIYA
 奈良時代の「丹後国風土記」逸文には、現在の伊根町に伝わる浦嶋子の伝説が記されています。浦嶋子の伝説は京丹後市もあり、網野町美津川の鳥居神社周辺には嶋子と乙姫の物語が伝わっています。

川上麻須郎女 KAWASUMI
 およそ1700年前、川上麻須郎女は、丹波連主命の間に五人の姫をもうけました。このうち日葉酢比売は、第1代垂仁天皇との間に、後継命や第12代景行天皇を産みました。久美浜町須田には、川上麻須郎女の父の原墓があつたと伝えられています。

女五后 ONNA GOSHU
 奈良時代の「丹後国風土記」逸文には、日本最古の羽衣天女伝説が記されています。天女は、伊勢神宮外宮の重要大神とされ、峰山町峰山周辺には、天女の伝承地として磯山や女池などがあります。

細川ガラシャ HOSONAGA
 およそ1600年前、豊臣秀吉の戦国時代、明智光秀の嫡子細川ガラシャ夫人は、丹波国を治めた織川豊興に嫁ぎました。殊染町味土野の織川神社は、本能寺の家の時、夫・忠興の命により玉子が隠された地と伝えられています。

女遊龍 ONNA YUZURU
 およそ1400年前、聖徳太子の母、穴穗部間人皇皇后は、争いを避け、丹波町間人に身を寄せた。この地を間人(はしう)と名付けましたが、里人ははしう(と)名め、皇后が産まれたことになみ「間人(たい)と読み替わると伝えられています。

女天狗 ONNA TENGO
 京丹後市リアの4駅には、この伝説に由来した愛称が採用されています。

(表)

静御前 SHIZUYORI
 静御前は、平安時代の終わり(およそ850年前)の白拍子で、源義経の側室です。網野町には、静御前の出土地と伝えられており、静御前を祀る神社などがあります。

乙姫 ONNA NIINOMIYA
 奈良時代の「丹後国風土記」逸文には、現在の伊根町に伝わる浦嶋子の伝説が記されています。浦嶋子の伝説は京丹後市もあり、網野町美津川の鳥居神社周辺には嶋子と乙姫の物語が伝わっています。

小野小町 ONNA GOSHU
 小野小町は、平安時代の歌人で、絶世の美女とされています。晩年の小町は、旅の途中に出会った上田兵衛の住む大宮町五十丁を訪れ、この地でくたがえたと伝えられています。五十丁には、小町が持っていたという鏡のほかに、小町を祀る寺とする妙性寺や小町の墓などがあります。

川上麻須郎女 KAWASUMI
 およそ1700年前、川上麻須郎女は、丹波連主命の間に五人の姫をもうけました。このうち日葉酢比売は、第1代垂仁天皇との間に、後継命や第12代景行天皇を産みました。久美浜町須田には、川上麻須郎女の父の原墓があつたと伝えられています。

おいしいお茶の淹れ方

煎茶味、檸檬味、柚子味、生薑味、ハインアッフル味	80℃で 60秒~90秒
黒大豆味	90℃で 60秒~90秒
林檎味	100℃で 60秒~90秒

企画 京丹後市観光公社
 高田町大宮 京丹後市観光公社
 海の京都・京都府京丹後市の観光情報、京丹後市観光公社の公式サイト「京丹後市」でチェック!
<https://www.kyotango.gr.jp>

パッケージデザイン COCHAE (コチエ) "おまじのデザイン"をテーマにした活動するデザイン・ユニット。
<https://cochae.com>

お茶の選定、フレーバーブレンド 成野野田化学 創業明治30年より続く(官庁)の老舗茶屋
<https://conokakado.com>

京都北部郊外のWEリーグを目指す新しい女子サッカーチーム「丹後七姫」。
<https://kyototangoqueens.com>

(裏)

本件に関するお問い合わせ先

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社 (海の京都 DMO)

京丹後地域本部 (通称: 京丹後市観光公社)

事務局 (担当: 木本・森本)

電話 0772-72-6070 / FAX 0772-72-0822

URL <https://www.kyotango.gr.jp/> E-mail info@kyotango.gr.jp



海の京都

